

- ② 蓄電池を荻野運動公園に設置
- ③ ワクチン接種のお知らせ
- ④-⑤ **特集** みんなでつくる人にやさしいまち
これからの移動を考える
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



北京冬季五輪出場

大塚 健 選手



地元や友人などからの応援も届いていたと話した

プロフィール 2001年生まれ。飯山小・小鮎中学校出身。バートン・スノーボード所属。2018・19年には世界最高峰の大会「XGAMES」ビッグエア部門で優勝。21・22シーズンの全日本スキー連盟強化選手。22年北京冬季五輪にスロープスタイルとビッグエアの2種目で初出場。それぞれ決勝進出を果たした。

「自分のやりたい技をやり切らないと後悔する。今回の選択に悔いはない」。北京冬季五輪男子ビッグエア決勝、大塚選手は2本目に、今大会最高得点となる95点をたたき出した。3本目、技の難易度を下げ確実に決めればメダルも狙える中、横5回転しながら板をつかむ大技「フロントサイド1800」に挑んだ。メダルよりも自分自身への挑戦を選んだ姿は、私たちに夢や勇気、感動を与えてくれた。

五輪前、数々の大会で結果を残し期待が高まる中、2019年に選手生命を脅かすほどの大けがを負った。必ず戻ると誓い、リハビリを乗り越え、初めての五輪出場を勝ち取った。

メダルには手が届かず悔しさをにじませたが、自分のスタイルを貫いた大塚選手は競技後、どこか晴れやかだった。「今後はまだ誰も決めたことのない大技を、限界を決めず、やれるところまでやり切りたい」と語った大塚選手。ゆっくりとした口調に強い意志を秘めながら、これからも自分自身に挑み続ける。

さらなる高みへ

ビッグエアでは最高難易度の大会に成功

©時事